

2025

台湾への投資

ビジネスチャンスの創出

製造業



目次

- 
- 1 台湾を選ぶ理由
 - 2 投資機会
 - 3 投資奨励
 - 4 投資サービス



台灣を選ぶ理由

1

台湾を選ぶ理由

- ・優れた地理的条件
- ・充実の交通網
- ・成熟した産業クラスター
- ・信頼性とレジリエンスの高いサプライチェーン



- ・豊かな開発能力
- ・健全な知的財産権保護制度
- ・優秀な人材
- ・暮らしやすい生活環境

1 台湾を選ぶ理由



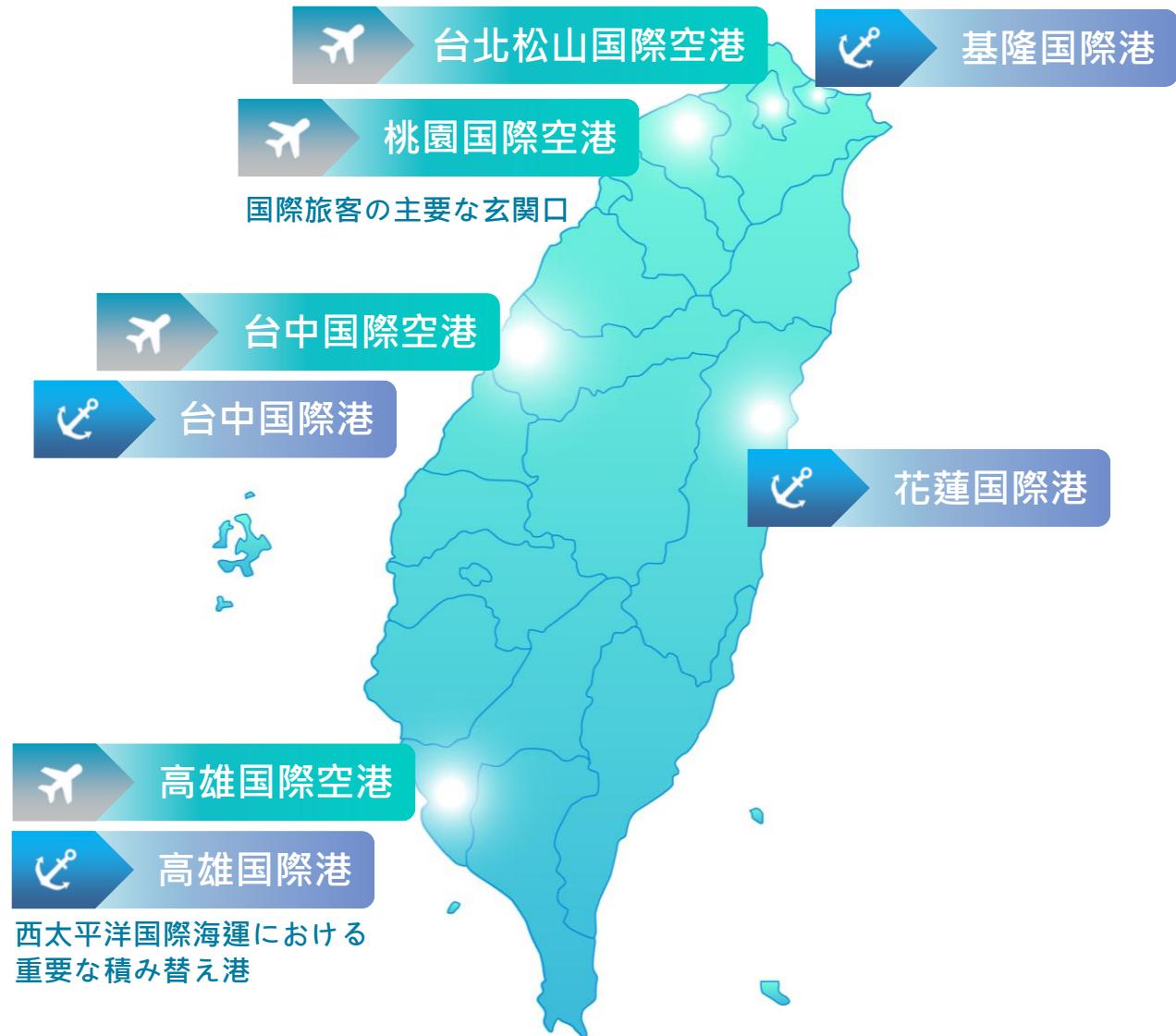
優れた地理的条件

台湾は東アジア、北東アジア、東南アジアを繋ぐハブとして、中国、日本、朝鮮半島、東南アジア諸国を中心地となっている。

1 台湾を選ぶ理由

充実の交通網

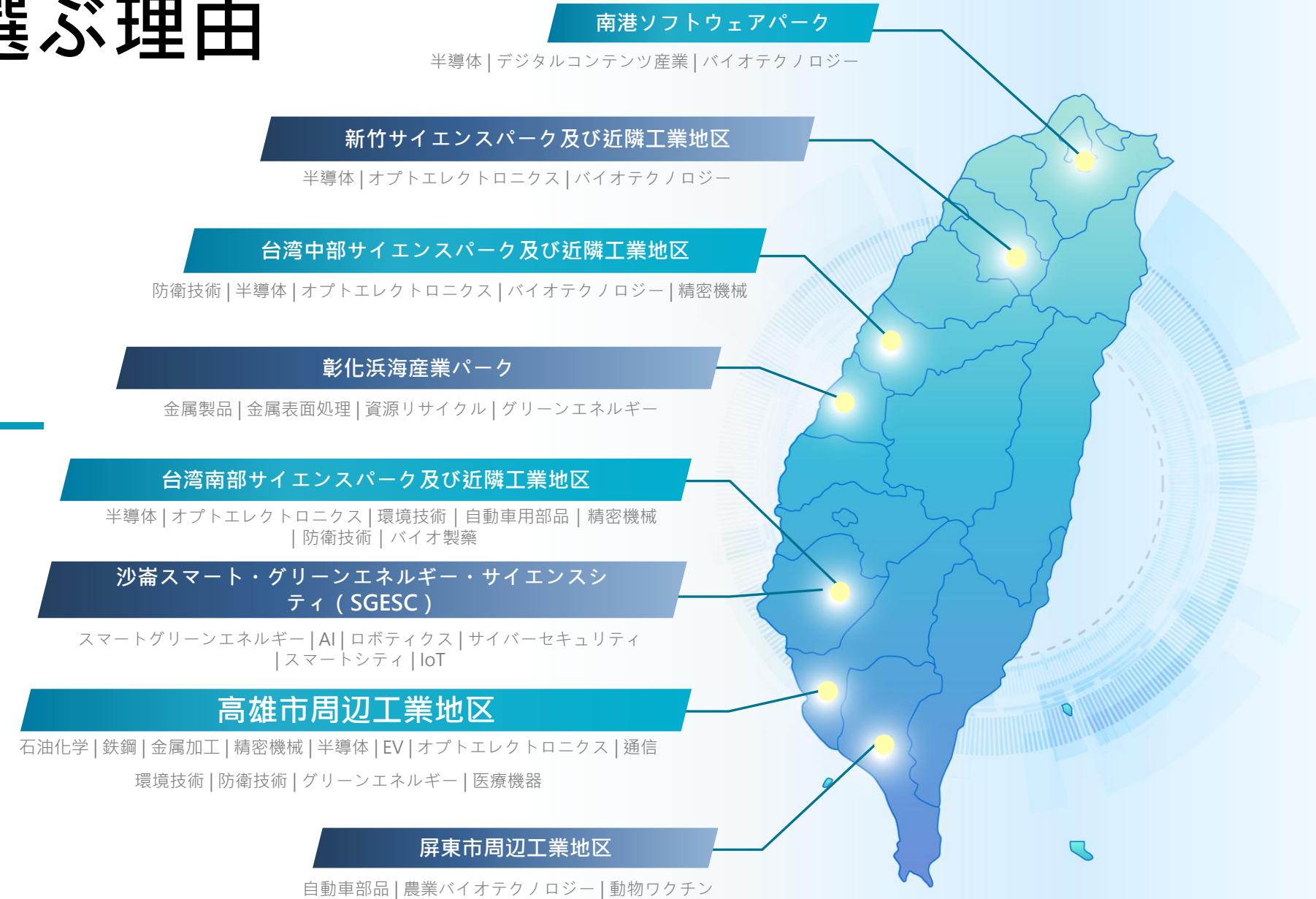
- ・ 4つの国際空港および4つの国際港を有し、海上・航空輸送網が発達
- ・ 台湾における国際物流大手（例：DHL、FedEx、UPS、Coupang、Yusen、GEODISなど）の積み替えセンターの集積
- ・ 高速鉄道と台湾鉄道を連結した交通網で、西回廊に日帰り生活圏を創出



1

台湾を選ぶ理由

成熟した 産業クラスター



1 台湾を選ぶ理由

信頼性とレジリエンスの高いサプライチェーン

◆ 成熟した半導体産業チェーン：

IC設計、ウェハー製造、高度なパッケージングとテストを網羅し、安定的、効率的、柔軟な供給を実現。

◆ AIで産業の自律化・インテリジェント化を牽引：

半導体産業とICT産業を連携させ、技術的独立性とソフトウェア・ハードウェアのシステム統合の利点を活かし、AIアプリケーションの実装を加速。

◆ 分野横断的な統合により、ヘルスケア産業の発展を加速：

情報通信技術と精密機械製造の強みを活かし、サプライチェーンの連携を通じてヘルスケア産業のイノベーションと成長を推進。

地政学的リスクへの対応として、台湾は「革新、安全、強靭性、繁栄の共有」を掲げて、民主主義諸国との連携、サプライチェーンの強靭化を推進していきます。

1 台湾を選ぶ理由

豊かな開発能力

サイエンスパークは、研究機関との連携を通じて研究能力を統合し、産業発展とイノベーションを推進

半導体

グリーンエネルギー

バイオメディカル

精密機械

情報通信

オプトエレクトロニクス

新竹サイエンスパーク

メーカー626社 (2025年4月)

宜蘭パーク、龍潭パーク、新竹バイオメディカルパーク、新竹パーク、竹南パーク、銅鑼パーク

台中サイエンスパーク

メーカー242社 (2025年4月)

后里パーク、台中パーク、中興パーク、虎尾パーク、二林パーク

南部サイエンスパーク

メーカー284社 (2025年4月)

嘉義パーク、台南パーク、高雄パーク、楠梓パーク、橋頭パーク、屏東パーク

17

のサイエンスパーク拠点

+

15

の大手企業研究開発機関

1 台湾を選ぶ理由



健全な知的財産権保護制度

健全な法規制度

2021年7月1日より「商業事件審理法」並びに「知的財産及び商業裁判所組織法」に基づき、専門裁判官・調査官の設置を通じて、商事事件の処理効率を向上させる。

主要国との特許審査ハイウェイ (PPH) の締結

米国、日本、韓国、ポーランド、スペインといった主要国とPPHを締結し、特許案件審査の迅速化を実現する。

知的財産及び商業裁判所の設置

知的財産権保護専門の警察チームの設立

知的財産権保護に優れ、国際的に評価される投資環境

台湾は、2025年に経済自由度で世界184カ国中4位にランクインし、2年連続で世界トップ4、アジアトップ2を維持。中でも、「司法の効率性」と「財産権」の指標は「自由」(80~100点)と評され、スコアが継続的に向上。これは、台湾が知的財産権に関して高度に保護された投資環境を有している確かな証となる。

1 台湾を選ぶ理由

優秀な人材

2025年版世界競争力年鑑

- 千人あたりの研究開発人材数 **第2位**
- 高等教育修了率 (25 - 34歳人口比) **第3位**

2024年版IMD世界人材レポート

- 人材ランキングで世界 **第18位**、アジア **第4位**
- PISA (15歳児の学習到達度調査) **第3位**
- 理工系卒業生ランクイング **第6位**



1 台湾を選ぶ理由

暮らしやすい生活環境

2024-2025
住みやすさランキング

- ・世界幸福度報告書 東アジア**第1位**
- ・世界で移住先として最適な国世界トップ4、アジア**第1位**
- ・世界医療ケア指數ランキン**グ第1位**
- ・安全指數世界**第4位**
- ・社会のニーズに対応した医療インフラ世界**第4位**





投 資 機 会

5つの主要な信頼産業

半導体

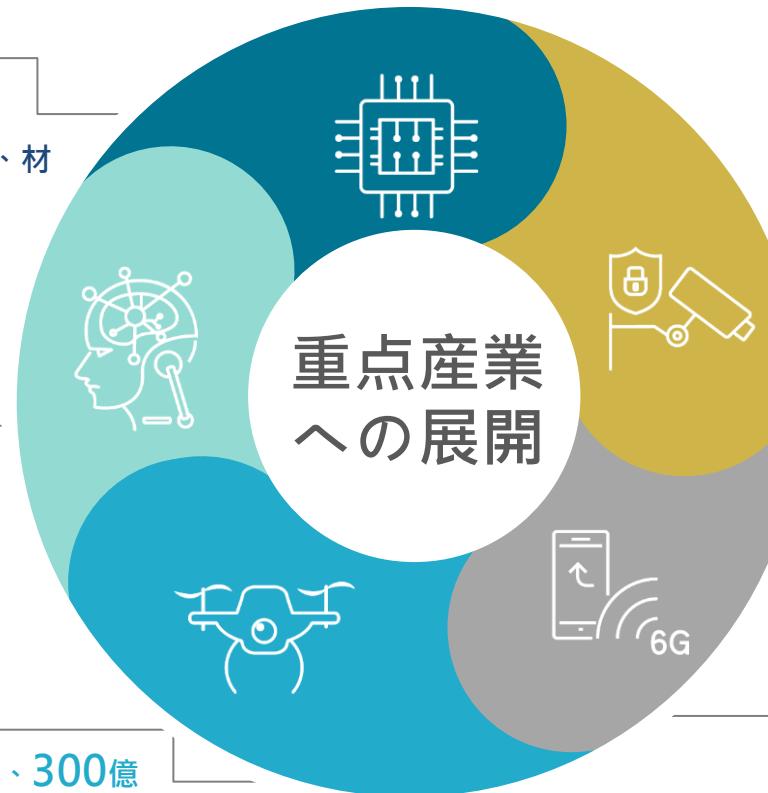
1. 2028年までに生産額2.6兆元增加する見込み。
2. 国内のIC設計、高度なプロセスとパッケージング、材料及び設備を強化。

人工知能

1. 2026年にAI、ソフトウェア、サイバーセキュリティ等のデジタル経済分野産業を重点とし、兆元規模の産業化を目指す。
2. 100億元規模の投資基金を設立し、AIデジタル産業への投資やデータセンターの新設を推進し、国際連携を図る。

軍事産業

1. 2028年までにドローン機生産額は10倍に拡大し、300億元に達する見込み。
2. ドローンのサプライチェーンを構築し、防衛産業における独立した能力を確立。



セキュリティ管理

1. 2028年までにサイバーセキュリティ・セキュリティ管理産業でそれぞれ1,000億元、300億元の生産額達成を目指す。
2. サイバーセキュリティを開発し、半導体、軍事産業に導入して産業レジリエンスを強化。

次世代通信

1. 2028年に衛星通信の統合アプリケーションサービスで300億元の生産額を創出。
2. 6Gの主要独自技術の開発、地上・衛星ネットワークの統合、フィールドソリューションの開発に取り組む。

投資機會

半導体産業は黄金期を迎えている

2024年
世界の半導体産業の
総生産額

20.3兆元

2024年
台湾の半導体産業の
総生産額
(新台湾ドル)

5.3兆元

2026年
台湾の半導体産業の
総生産額
(予想値・新台湾ドル)

7.1兆元

ウェーハファウン
ドリ、パッケージ
ング、テスト業界
の市場シェア

世界第1位

IC設計業界の
市場シェア

世界第2位

2024年台湾の半導
体産業の総生産額

世界第2位

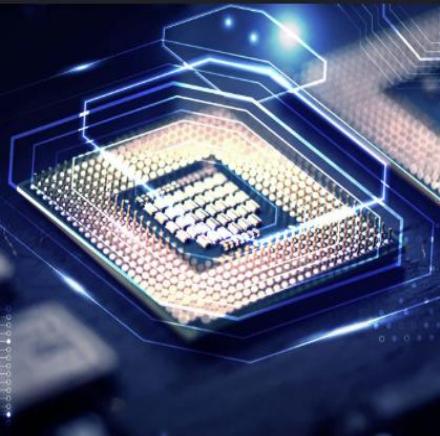
投資機會

生成AIと新興アプリケーションの急速な拡大により 世界の半導体市場の持続的な成長を促進

コンピューティング、ストレージ、帯域幅の需要の急増により、材料と機器の成長が促進され、高度なパッケージングとシリコンフォトニクスの商業化が加速。

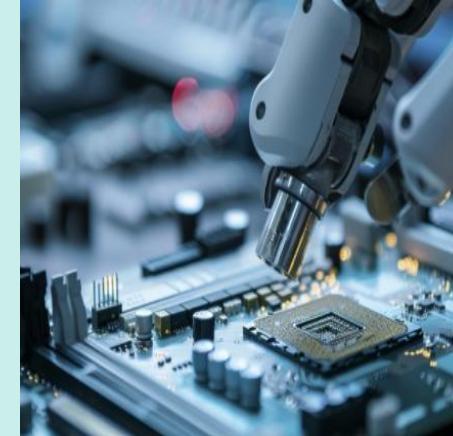
成長の原動力

半導体材料



- ・2024年の世界半導体収益は675億米ドルに達し、うちウエハー材料は429億米ドル、包装材料は246億米ドル。
- ・台湾の半導体化学品市場の収益は2024年に37億4,500万米ドルに達し、2030年までに76億9,100万米ドルに成長する見込み。

半導体製造装置



- ・世界の半導体装置売上高は2024年に過去最高の1,171億ドルに達した。
- ・台湾の市場売上高は2024年に166億米ドルで世界第3位となり、2030年までに412億6,200万米ドルに達する見込み。

台湾は半導体産業をリードし続け、周辺機器のサプライチェーンの巨大な市場需要を生み出しています。

2 投資機会

高度なパッケージング及び高速伝送に注力して
AI時代の半導体アップグレードのチャンスを掴む

1 共同技術研究と検証

高度なプロセスとパッケージングの検証、
異種統合に最適なプラットフォーム

協力戦略：
CoWoSxCPOモジュールの開発・検証においては、外国企業がパッケージングや統合に必要な主要材料・設備を提供し、国際的な双方向協力を行う。

シリコンフォトニクスモジュール量産
検証プラットフォーム

2 現地サプライチェーン の構築

完全なサイエンスパーククラスターにより、
高度なパッケージングと効率的な組み立てが可能に

協力戦略：
台湾側がエンドツーエンドのパッケージングおよびテストサービスの提供、AI/HPCチップの大量生産拠点の設立を担い、外国企業が現地の材料/機器サプライチェーンシステムに参入する。

AIチップのパッケージング生産拠点
を共同で構築

3 テクノロジーアライアンスと エコシステムの共同構築

シリコンフォトニクスとCPOの高度な統合により、多国籍のテスト及び検証プラットフォームを構築

協力戦略：
外国企業が研究機関や大学と連携して多国籍の研究開発・検証拠点を設立し、必要な資材、試験・包装設備、人材などの支援を行う。

シリコンフォトニクス国際エコシステムの共同構築

2 投資機會

半導体 代表例

オランダ



ASML

政府の計画が次世代技術の応用
拡大に向けた協力を後押し

今後も台湾への投資を拡大し、経済部のA+プログラムを活用し、台湾における次世代ウエハ光測定装置（2ナノメートルモデル）の研究開発・製造を計画し、現地自給率の向上を目指す。

ドイツ



ツァイス

光学技術の
リーディングカンパニー
8年間で数倍の規模拡大を実現

2024年に新竹にイノベーションセンターを設立し、今後5年間で台中に品質優秀センターを設立するなど、台湾での事業拡大に65億新台湾ドルを投資することを約束している。

アメリカ



マイクロン

世界的なメモリチップメーカー
HBMの台湾への投資拡大

台湾における最大の外国投資家であり、累積投資額は1.2兆元。HBMプロセス能力の持続的な拡大と1ガンマ先端プロセスの量産推進に加え、2024年には台南への拠点拡大も予定。

ドイツ



メルク

台湾に100億の投資を発表
半導体のメガ拠点を建設

2021年に、今後5~7年かけて台湾に170億新台湾ドルを投資し、高雄に世界初の大規模半導体材料製造・応用研究開発センターを建設すると発表。プロジェクトの第1期は2025年12月に完了する予定。

2 投資機會

AIチップ、AIサーバー、AIアプリケーションで完全な産業エコシステムを構築し、グローバル競争力を強化する

- ・完全な半導体エコシステムと高度な製造プロセスにより、台湾はAIチップとAIサーバーの製造と統合の世界的な拠点となっている。
- ・台湾のチップ、センサー、システム統合における長期的な戦略計画は、AIロボット技術の発展を強力に後押ししている。
- ・「10の新たな主要AIインフラプロジェクト」の計画を打ち出し、2028年までに7兆新台湾ドルの生産額を創出し、2040年までに15兆新台湾ドルを突破することを目標としている。台湾のAI産業を世界トップ5に押し上げることを目指す。



投資機會

AI産業チェーン

アップストリーム - AIチップ

世界のAIチップ生産高

500億米ドル以上 (2025)



392.7億米ドル (2024)

先進チップ製造の世界的リーダー

- ・パッケージング・テスト
- ・材料設備
- ・チップ設計
- ・先進的なチップ製造

台湾のAI産業サプライチェーンは、強力な産業回復力とクラスターの優位性が特徴です。

ミッドストリーム - AIサーバー

世界のAIサーバー市場規模

392.3億米ドル (2025)



307.4億米ドル (2024)

サーバーサプライチェーンにおいて
世界的に重要な役割を担う

- ・サーバー製造
- ・PCBとキャリアボード
- ・フレームと冷却
- ・高速接続とネットワーク通信
- ・サーバールームと電源設備

ダウンストリーム (AIアプリケーション - ロボティクス)

世界のAIロボット市場規模

205.1億米ドル (2025)



170億米ドル (2024)

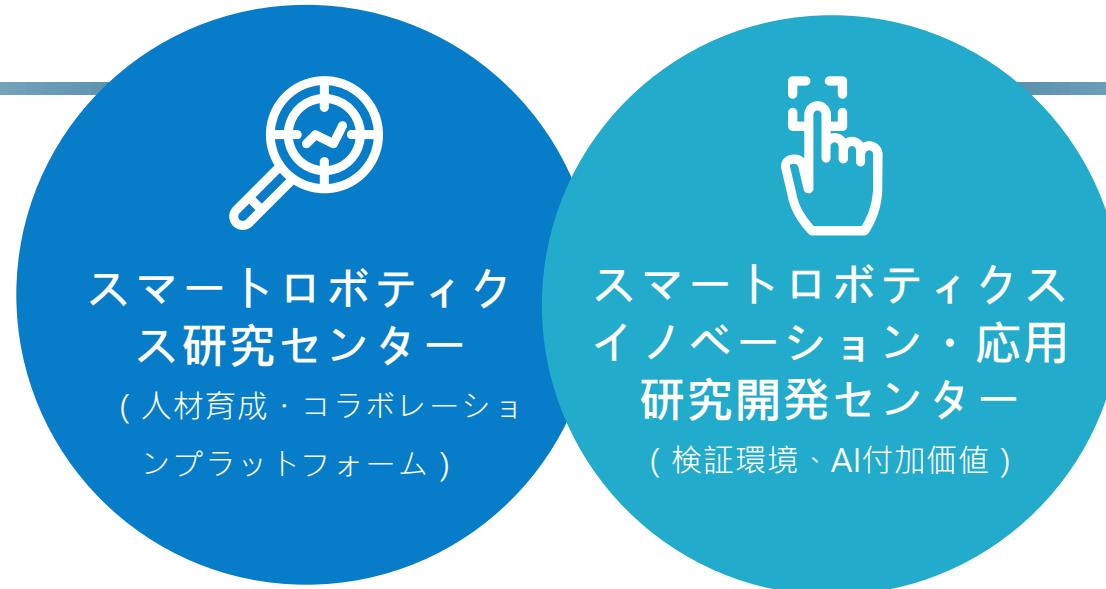
充実したICTサプライチェーン

- ・アプリケーションソリューション
- ・端末デバイス
- ・ロボット

投資機會

ロボット産業のエコシステムの構築

- 基礎技術研究開発と产学連携に注力
- 研究成果の活用、人材育成、アプリケーション開発へのサポート



- アプリケーションの実装と業界に焦点を当てる検証
- 実証サイトの建設と促進
サプライチェーンの統合とスタートアップの協力

最先端技術の共同開発、主要技術への投資、スマートアプリケーションの深化



「台湾テック系スタートアップの支援拠点(Taiwan Tech Arena)の南部拠点」 - 沙崙



国研院「スマートロボティクス研究センター」-沙崙



工研院「スマートロボティクスイノベーション・応用研究開発センター」-沙崙



柳科ロボット産業クラスター-沙崙

2 投資機會

アメリカ



シスコシステムズ

大手ネットワーク機器メーカーの参入が台湾の産業発展とAIインフラの成長を加速

2024年に「台湾デジタルアクセラレータープログラム3.0」を開始し、持続可能性、サイバーセキュリティ、AIに重点を置き、スマートシティや、交通、人材育成を推進し、投資を拡大し続ける。

アメリカ

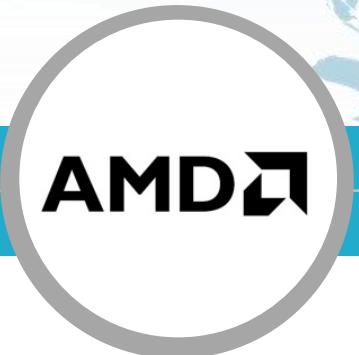


Google

ビッグテックが事業展開を強化
ハードウェア開発拠点を構築

2024年に台湾2番目のハードウェア研究開発オフィスであるTparkを設立し、同社の米国以外の最大ハードウェア開発拠点として確立。過去10年間で、同社台湾チームの規模は20倍以上に成長。

アメリカ



スーパーマイクロ

米国の半導体大手が支援
台湾のAI産業エコシステム

2025年に台南市沙崙と高雄市亞湾の研究開発オフィスの運用を開始し、AIハードウェアとソフトウェア、シリコンフォトニクス等の最先端の技術に注力。成功大学、陽明交通大学、中山大学と連携して地元のAI人材の育成に取り組む。

アメリカ



エヌビディア

AIのビッグテックが台湾に研究開発センターおよび先端計算センターを設立

台湾に物流センター及びAI R&Dセンターを設立し、ホンハイと協力して高雄のアジア新湾区にスーパーコンピュータ先端計算センター「Taipei-1」を設立。

投資機會

産業基盤 : ICT | 半導体 | 精密製造

医療面での優位性 : スマートホスピタル | 臨床検証 | 迅速な導入

- 台湾は、グローバルヘルスケア指数において8年連続で**第1位**
- 世界保健機関（WHO）による医療制度の評価で世界第6位、**アジア第1位**
- 計**8**病院が年間トップスマートホスピタルに選ばれ、中でも台中榮民総合病院は**世界トップ100**にランクイン
- 台湾のヘルス・ウェルネス産業の生産額は、2025年までに**3000億**新台湾ドルを超える見込み
- 台湾製商業用フィットネス機器の世界市場シェア**第1位**



2030年までに、世界の65歳以上の人口の占める割合は11.7%に上昇すると予想

台湾スポーツ用品OEM/ODMで世界第3位

2030年の世界市場

- 医療ニーズ、予防医療、健康促進ライフスタイル産業におけるビジネスチャンスは15兆米ドル
- スマート医療市場は3,852億米ドル
- スポーツテクノロジー市場は1,032億米ドル

資料出典：工業技術研究院、国家発展委員会、IDC



世界的な健康ビジネスチャンス が生まれる 台湾のICTパワー

ハードウェアとICTの分野横断的な統合が高度な成長を牽引し、2028年にはICT生産高が305億5,600万米ドルに達する見込み。

- 国際的な需要を満たすハードウェアとソフトウェアの機能を統合
- 国際的なバイオテクノロジー企業を誘致し、台湾に研究開発センターを設立
バイオメディカルチェーンが完備しており、健康保険データ、臨床経験、CDMO機能、法規制面でのサポートを備えている。

分野横断的に「ビッグヘルスケア」産業チェーンを構築し、海外企業と協力して新たな価値を創造

- ・ アップストリーム - コア製造とコンポーネント供給
- ・ ダウンストリーム - AIとデータアプリケーションサービス
- ・ ミッドストリーム - ICT統合とプラットフォーム開発
- ・ 現場側 - 「ビッグヘルスケア」施設と検証プラットフォーム



バイオメディカル



スポーツテック



スマート医療

スマートヘルススペースの共創

海外企業のAIソフトウェア力と台湾の医療現場を結び付けて、スマートケアエコシステムを構築。

スマート医薬品チェーンにおける連携

台湾の完備されたバイオ医薬品サプライチェーンと外国企業のデジタル医薬品分野での経験を統合し、スマート医薬品技術の協力を共同で推進。

臨床データの革新的な応用

豊富な臨床経験に基づき、海外のAI医療機関と台湾の臨床医療機関との連携を推進。

アメリカ

RESILIENCE

レジリエンス
Resilience

米Resilience社がTBMC社と提携し、
世界のCDMO市場を狙う

2024にTBMC社は、米Resilient社から5つの先進製造プロセスのライセンスを取得した。核酸医薬品製造をGMP基準にアップグレードし、2026年までに量産化を実現する予定。

スイス



SHL GROUP

瑞建メディカル
SHL Group

大手薬物送達システムメーカーである
Ruijian Medical、台湾に世界的な生産
工場を設立

台湾にグローバル製造拠点を設立するとともに、自動注射器などのスマート医療機器の生産能力を強化するために5年間で1億ドルを投資すると2024年に発表。

アメリカ

illumina

イルミナ
Illumina

国際協力により多様な発展を推進し、
WGS市場の成長を加速

台湾Genomics社は2025年、Illumina社と戦略的パートナーシップを締結。アジア太平洋地域における遺伝子配列解析と多体技術の応用を協力して推し進め、全ゲノム配列解析(WGS)分野における巨大なビジネスチャンスを掴むことを目指す。



投 資 獎 励

3

投資奨励



税制上の優遇

研究開発補助金及び優遇措置

特区への優遇措置

グローバルな人材を呼び込むため
の奨励措置

3

投資奨励

1

研究開発費の法人税の軽減措置

研究開発費は、当年度の法人所得税から最大15%控除できます。または、支出額の10%を上限として、3年間に分けて法人所得税から控除できます。

2

スマートマシン/5G/サイバーセキュリティ/AI/省エネ・CO2削減投資オフセット

100万新台湾ドル～20億新台湾ドルの支出については、「支出額の5%を当年度の法人所得税から控除」または「支出の3%を当年度から3年以内の各年度の法人所得税から控除」を適用します。

3

特許・著作権等費用の支払い

授権された収益の範囲内で、当年度の研究開発費の最大200%を課税所得から控除できます。この控除と前述の研究開発費控除のいずれかを代替として選択する必要があります。

4

バイオ医療企業の研究開発費に対する税額軽減措置

研究開発費への投資の最大25%は、企業が所得税を納める義務を負う年から5年間、その年に納める法人所得税の最大50%まで、毎年納める法人所得税から控除できます。

5

未処分利益による実質的な投資

利益発生年度の翌年から起算して3年以内に、当該利益を用いて、自社の生産または営業のための建物、ソフトウェア・ハードウェア設備または技術を建設または購入し、その金額が一定額に達した場合、当年度未処分利益の控除項目として計上でき、5%の営利事業所得税は徴収されません。

6

台湾で生産されていない機器・設備の輸入

輸入関税免除

3

投資奨励



1

グローバル研究開発イノベーションパートナープログラム

本国産業を補完し、利益をもたらす多国籍企業が、本国産業と共同で重要な技術の研究開発を行うことが奨励され、最大で総額の研究開発資金を受け取ることができます。

50%の補助金

2

産業の高度化・イノベーションプラットフォーム支援プログラム

産業全体の付加価値率向上を図るため、ハイエンド製品応用市場への外国企業の参入を奨励し、最大でプロジェクト資金の支援を受けられます。

40% ~ 50%の補助金

3

台湾への投資：3つの主要計画 2.0

企業が世界的な政治経済的課題やサプライチェーンの変化に対応できるよう支援し、産業界におけるAIの導入とグリーン変革を積極的に推進します。

融資額に応じた手数料の支払い



一般的な税制優遇

- **輸入は輸入税、貨物税、営業税を免除**
原料 / 燃料 / 材料 / 半製品 / 機器設備
- **営業税ゼロ**
貨物と労務の国外輸出
課税区から仕入れた原料、燃料、物料、半製品、機器設備

自由貿易港区

- 台湾で準備または補助の性質の活動のみに従事し、自由貿易港区で仕入れ・輸入・保管・輸送に従事する企業は、その物品販売の所得に対する営利事業所得税が免除されます。
- タバコ税、酒税、タバコ保健福祉寄付金、貿易振興サービス料、商業港サービス料が免除されます。

サイエンスパーク

- 研究開発補助金は最高1,000万新台湾ドル
- 申請した研究発展計画経費総額の50%を上限とする

3

投資奨励

グローバルな人材を呼び込むための奨励措置

退職保障、健康保険及び税制上の優遇措置を提供

- ・特定専門職人材は5年減税
- ・健康保険加入制限を緩和
- ・退職保障を強化し、新たな労働退職制度を適用する

労働、ビザ、居留規定の緩和

- ・4-in-1の「就業ゴールドカード」
- ・就職活動ビザ
- ・外国フリーランス芸術家の労働許可発行

従業員報酬及びストックオプションに対する課税繰り延べの優遇

会社の従業員が総額500万新台湾ドル以内の株式報酬を取得した場合、当年度課税所得の課税分に算入せず、実際に株式を譲渡（売買、贈与など）した時点で課税する

グローバル人材採用

- ・特定条件を備えた外国特定専門職人材は、国内での居住期間が1年を満たすと永住権の申請が可能
- ・より多くのデジタル遊牧民の人材を引き付けるために、最長2年の滞在を許可する新しいデジタル遊牧民ビザを導入
- ・企業が雇用する海外在住の中国人留学生の年間定員制限を撤廃

親・配偶者・子女の滞在・居留規定を緩和

- ・成年子女の台湾個人就労許可を発行
- ・配偶者・子女の永久居留申請規定を緩和
- ・外国特定専門職人材、高級専門職人材とその近親者の家族訪問の滞在期間を延長



寛大な報酬により世界のエリートを引きつけ、競争上の優位性を生み出します。



投資サービス



サービス内容

ワンストップサービス 部門間の調整とリソースの連携

- 専用のプロジェクト、専用の人員、専用の責任、完全にカスタマイズされたサービス
- 土地や工場・オフィス調達の支援、投資奨励・優遇措置等の申請手続きの支援
- 政府と民間の専門的なリソースを結集し、投資企業に質の高いサービスを提供

土地探しをサポート 土地取得及び評価サービス

- 中央政府及び地方政府機関と連携し、投資プロジェクトの行政手続きを迅速化
- 投資計画のコンサルティング及び評価サービス、税金や法規制等に関するコンサルティングサービスの提供
- 人材採用コンサルティングサービスの提供

24時間以内に返信 オンライン・オフライン問わず迅速に対応

ご清聴ありがとうございました



2025年9月

<https://investtaiwan.nat.gov.tw>